



ASAZORA ASAZORA
あさぞら あさぞら

胎内市立中条中学校 <https://tainai-nakajo-jhs.edumap.jp/>

令和8年5月 25 日

第3号

☎ 0254-43-2761

教育目標「考える」

学校経営理念「授業づくりは学校づくり」

～ vol.1 まちづくり会社中条中学校社 いよいよ始動 ～

校長 森谷 優子



当校のグランドデザインの中心にあるのが、地域の方、県内外に、年々認知度が高まっている「まちづくり会社中条中学校社」というプロジェクトです。いわゆる探究学習です。探究は、①課題を設定し、②情報を収集し、③整理・分析し、④まとめ・表現する、という一連のサイクルをスパイラルに繰り返します。

総合的な学習の時間を使い、生徒が、地域の人やモノ、出来事に直接関わって課題を解決していく3年生の「まちづくり発信イベント」は6年目を迎え、2年生の課題解決型職場体験、1年生の地域学習を経て、スパイラルに積みあがった成果発表の場となっています。

なぜ、あえて会社というフレームワークを使っているのかといえば、「一人一人が**自己の生き方を見つける**という強い当事者意識を生み出す」ことをねらっているからです。だから中条中学校社の経営理念には「私たちには社会を変え、世界を変える力がある」と明記されています。

私たちは生徒に将来社会に出るための練習をさせているのではありません。リアルに、地域の課題に対して、実際に地元の企業や大人たちと対等な立場で交渉していくことで、社会の一部を担うステークホルダーとして扱い、目的や根拠を明らかにしながら解決策を提示する、まさに、この瞬間から本番の社会に参加させるための仕掛けが、この中条中学校社なのです。

現実の課題を解決する会社を回すためには、先生の指示を待っているだけの生徒では立ち行きません。指示待ちでは会社は潰れてしまいます。自分たちで情報を集めて、計画を立てて、実行する自立した思考力が必要になる。

これまでのわが国の中学校の授業では「何を知っているか」という知識や理解に重きが置かれ、覚えたり、暗記したりすることに多くの時間が割かれてきました。しかし、それで本当に社会で役立つ力が育つのか、「学校での学びは、社会で役に立つ学びになっているのか」ということについて議論されてきました。

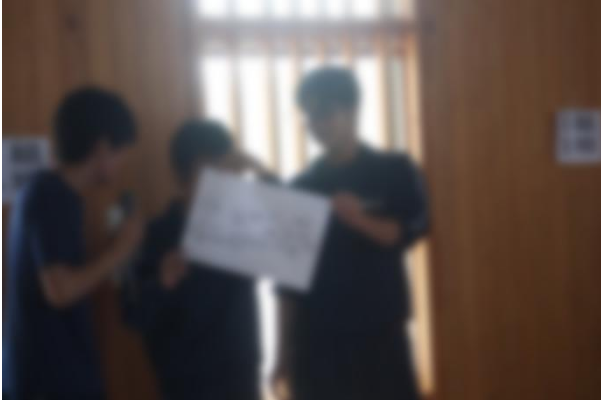
3月には新しい学習指導要領の全貌が見えますが、現行の学習指導要領の流れは加速する見通しです。知識は知識でも「社会や生活で生きて働く知識」が求められ、さらに知識を活用する「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力」が求められています。

当校の目指す方向はまさに国の目指す方向と合致していると確信しています。

3年生 11/1の発信イベントに向けて

※詳細は別紙チラシをご覧ください。

毎年、11月3日▶に行っている3年生の「まちづくり会社中条中学校社」の発信イベントですが、今年度は11月1日(日)に実施します。それに向け、まずは、6月26日(金)に恒例となったプレゼン発表会を実施します。平日にもかかわらず、毎年、多くの地域の皆様にご支援、ご協力をいただいています。今年も引き続きお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。



2年生 課題解決型職場体験

(1) 事業所の方と学校職員の打ち合わせ

(2) 職場体験の事前学習

「生き方トーク・仕事トーク」

事業所の方から生き方や仕事についてお話を聞く。

その際、事業所の方に、生徒に向けてミッションを提示してもらおう。

(3) 職場体験（3日間）

46の事業所のご協力で、一つの事業所に2～5名が職業体験を行う。

(4) 課題解決

職場体験後に、ミッションの解決に向けて学びを進め、提案が自分ごとになるように考える。

(5) ミッション提案発表会

事業所や保護者、他校の方々等をお招きして行う。



事業所の方と学校職員の打ち合わせを行い、互いに仕事で大切にしていること、生徒に身に付けさせたい力について話し合いました。

1年生 地域学習

「まちづくり会社中条中学校社」として、3年生で発信するためには、まず、胎内市のよさ、魅力を知らなければなりません。そこで、1年生では胎内を再発見するため、黒川、乙、築地、中条の7コースに出かけ、たくさんのインプットをしています。

私は、一昨年は、鼓岡の さんはじめみなさんと楽しくマコモダケ植え体験をさせていただき、昨年は、松原ステーブルスさんで、 さんに馬のこと、馬をとりまく情勢について、たくさんお話をお聞きし、様々な角度から考えさせられました。今年、乙まんじゅうの さんに乙宝寺と乙の歴史についてお話を伺い、本当にわくわくしました。

お世話になったみなさん、本当にありがとうございました。



	A	B	C	D	E	F	G
	鼓岡コース	新設 食農大コース	胎内高原コース	乙コース	中条コース	胎内平コース	築地コース
活動内容	マコモダケ植え体験	食農大ミニオープン キャンパス	ワイナリー&フルーツ パーク参観、体験	歴史ある乙宝寺 散策・講話・体験	板額御前 講話 歴史館参観	森林自然散策	松原ステーブルス 牧場見学・体験
受け入れ可能 人数	15名まで	25名程度(Max28名)	25名程度(Max30名)	20~26名まで	25名程度(Max30名)	26名まで	20名まで



教育相談旬間

毎年3回、5月と11月、2月に実施している教育相談旬間では、生徒が先生（学級担任他）と話をしています。今、悩んでいること、友だちのこと、勉強のこと、進路のこと、話題は様々です。悩みごとは誰かに話すと楽になるものです。教育相談が終わっても、いつでも話したいときは話してください。学級担任でなくともいいです。部活顧問の先生や教科担当の先生、保健室の先生、誰でもいいので話しやすい人に話してくれたらいいのです。一人で抱えないこと、話せる人がいることが大事です。生徒の皆さんにとって話しやすい存在でいられるよう、私たち職員も努めていきたいと思えます。

また学校には月1～2回、スクールカウンセラーが来校します。生徒でも、保護者でも、誰でも相談できます。「知っている人には逆に話しにくい」「相談してみたいな」という人は、ご連絡ください。心の健康を保ちながら、元気に過ごしていきましょう。当校のスクールカウンセラーは、田中晃さん、場所は1階の相談室（玄関から部屋へ直接お入りください）です。

＜スクールカウンセラーの今後の来校予定＞

4月		10月	1日	29日	
5月	28日	11月	19日		
6月	4日	25日	12月	3日	17日
7月	16日	1月	14日		
8月		2月	18日		
9月	10日	3月	11日	18日	

胎内市教育支援委員会を知っていますか



特別な教育サービスを必要とする幼児児童生徒に対し、一人一人のニーズに応じた適切な就学を支援することは、極めて重要なことです。

この役割を担っているのは、市町村及び都道府県の教育委員会です。市町村や都道府県の教育委員会は、保護者との相談を重視し、保護者や専門家の意見を聴くなどして適切に行っています。

支援を必要としている幼児児童生徒に対して、早期に対応していくことは、幼児児童生徒のよりよい成長につながり、その後の社会生活への適応が大きく変わってきます。

この目的のために、市町村及び都道府県の教育委員会には、医師、教育職員、児童福祉施設職員など各分野の専門家からなる「教育支援委員会（就学指導委員会）」等が設置されています。胎内市にも法的根拠に拠り、毎年、胎内市教育支援委員会を開催しています。中学2年生までを対象としている市町村が多い中、胎内市は、中学3年生までを対象にしています。もしも、お子さんが学校生活で困り感を抱えていたら、ぜひ、学校へご相談ください。

